

2020 年度実施概要

学校名

竹富町立小浜小中学校

採択活動名

わーりたぼーり小浜の海へ

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

| 単元名 | 学年 | 教科 |
|---------------------------|--------|-----------|
| 私たちの食生活「調理と食文化」 | 中1, 中2 | 家庭科 |
| 日本の気象 | 中2 | 理科 |
| (海洋教育) 地域の歴史・文化に誇りを持つ子の育成 | 小中全学年 | 総合的な学習の時間 |

取り組みの概要

本校では、海洋水産物(島でとれる魚、海藻類)と関わりや島の祭祀への参加等を学校の教育活動に位置づけ、地域の自然の理解と文化との関わりについて学ぶことで、海洋教育を進めてきた。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、当初予定されたいた行事や活動が中止されたことも多くあった。

1. もずく採り、ハーリー祭、結願祭

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2. アーサ採り

細崎地区東部の海にてアーサを取った。縦割り班で活動することで異年齢交流も深まり、海の恵み(海藻:アーサ)について上級生から下級生へ話す姿も見られた。

3. 美ら海体験(シュノーケリング・ダイビング体験)(PTA 主催)

保護者(地域)の声として「もっと自分達の島の海を知って欲しい」がある。地元企業と連携し、少し離れた沖まで船を出していただき、地域の海を偉大さや美しさなどを体感する機会となった。

4. ビーチクリーン

地域や学校の取組として、ビーチクリーンを行った。砂浜に打ち上げられるゴミの種類や量を目の当たりにして、自分たちの豊かな生活と海の自然の共存について考える機会となった。

5. マングローブ林の観察

地元のネイチャーガイドの方を講師に招き、小学生と中学生の発達段階に応じた視点で、地域のマングローブ林の観察を行い、生き物と海の関わりについて学んだ。

6. 黒島との交流学习(他の島へ交流)

同じ町内でありながら、初めて黒島を訪れる子どもが多く、自分の島と違いや魅力を存分に味わうことができた。また、黒島小中学校の児童生徒と交流することで、お互いの取組を共有する貴重な機会となった。

7. 各教科、領域等との教科横断的な学び

家庭科では、地元の料理人(保護者)の方を招き、島でとれた食材(魚)の調理法を学びながら、地産地消をふくめ、海のもたらす食材について考えることができた。

英語では、単元の中で3Rについて学習する中で、海洋教育を進めた。

理科では、季節風について学ぶ中で、海と陸のつながりについて学びを進めることができた。

総合的な学習の時間では、島の文化や祭祀、民族衣装などを教材とし、その関連の中で海洋教育を進めることができた。

道徳科では、D[自然愛護]等の内容項目で自然(海)と人の関わりについて考えることができた。

<活動中の写真>



黒浜交流会（他の島へ交流）



スキューバダイビング



中1 総合（地域の自然と文化）



小1・2 総合（マングローブ林の観察）



ビーチクリーン



ビーチクリーン